



# Amazon サプライチェーン基準 マニュアル

本サプライチェーン基準マニュアル(以下「本マニュアル」といいます)は、AmazonやAmazonの子会社に商品やサービスを提供するすべてのサプライヤー様の慣行がAmazonのサプライチェーン基準における期待事項を満たし、さらにそれを超えることができるようにするため、それらのサプライヤー様にガイダンスを提供するものです。サプライヤー様には、プロバイダー、ベンダー、販売事業者、業務委託先、下請業者が含まれます(以下「サプライヤー様」と総称します)。本マニュアルは、サプライヤー様の知識を高めるための補足資料として作成したものです。本マニュアルは、Amazonのサプライチェーン基準に定めるいずれの要件も変更するものではなく、それらに優先するものでもありません。サプライヤー様は、サプライチェーン基準ならびに適用される法令および規則を遵守することが求められています。



2023年11月に更新されました



# コンテンツ

はじめに	3
Amazonのサプライチェーン基準とは	3
Amazonのサプライチェーン基準を遵守する必要がある主体と例外	3
監査要件および法令/規制上の期待事項	4
監査要件	4
認められる監査	4
業界団体監査	4
Amazonが管理する監査	5
建物、電気、火災、および構造に関する安全プログラム (BEFS)	5
予防措置	5
ギャップ分析	5
方針および内部統制	6
方針および統制の例	6
是正	6
是正プロセスの主な手順	6
是正行動計画	7
Amazonがサプライヤー様との関係の終了を検討する場合	7
サプライチェーンの管理	8
サプライヤー様の関係	8
苦情処理制度	8
透明性	8
環境	9
サプライヤー様の多様性	9
付録	9
付録1:用語集	9
付録2:よくある質問	10
付録3:各国固有の調達要件	10
付録4:業界イニシアチブとマルチステークホルダーイニシアチブ	11
付録5:監査のアジェンダの例	13
付録6:監査の通知例	13
付録7:監査文書のチェックリスト例	14
付録8:是正行動計画の例	14

## はじめに

### Amazonのサプライチェーン基準とは

Amazonのサプライチェーン基準（以下「本基準」といいます）は、Amazonが事業活動およびビジネス上の関係全体において、どのように人権の尊重を採り入れるかを考える際の基礎となります。

Amazonのコミットメントおよびアプローチは、国際連合（国連）および国際労働機関（ILO）によって策定されている主要な国際基準およびフレームワークの情報を参考にしたものです。Amazonは、国連のビジネスと人権に関する指導原則、国連の「世界人権宣言」、ILOの中核的条約、ならびに「労働における基本的原則および権利に関するILO宣言」を尊重し、支持しています。本基準は、国際的に広く知られている上記の原則、基準、およびフレームワークから派生したものです。本基準を解釈する際、Amazonは、国連およびILOのガイダンス資料および定義に従います。



本基準は、インクルージョン、継続的改善、およびサプライチェーンの説明責任の原則に基づいています。Amazonは、これらと同様の原則を支持するサプライヤー様、およびAmazonと取引する条件としてこれらの基準を遵守するサプライヤー様と関係を結びます。Amazonは、要求事項が、現在のベストプラクティスおよび規制上の基準と整合しているようにするため、外部のステークホルダーと協力して、少なくとも3年に1度、本基準を更新します。本基準を遵守するという誓約は、Amazonとのすべての購入契約またはサービス契約に含まれています。

[本基準の全文](#)はオンラインで確認できます。本基準は、20を超える言語で用意されています。

### Amazonのサプライチェーン基準を遵守する必要がある主体と例外

Amazonのストアで販売されている製品を生産している第三者、またはAmazonに製品もしくはサービスを提供している第三者は、本基準を遵守する必要があります。

サプライヤー様は、すべての適用法令および規則に従うとともに、Amazonが適用法令および規則に従うことができるよう支援する必要があります。これには、法令および規則の遵守に関連するAmazonからの要求に応じることが含まれます。適用法令が本基準と競合する場合、サプライヤー様は、国際的に認知されている人権の原則および本基準に含まれる期待事項を尊重する方法を模索しながら、法令に従う必要があります。

## 監査要件および法令/規制上の期待事項

Amazonは、社会的および環境的なパフォーマンスを理解するために、オンボーディング中、およびその後定期的に、サプライヤー様を監査することができるものとしてます。評価は、労働、衛生と安全、環境、および倫理という4つのカテゴリを対象とします。監査は、サプライヤー様がAmazonの本基準に関連する問題を特定し、それらに対処するのに役立つ手段です。また、サプライヤー様は、追加の法令および規制上の要件も満たすことが求められる場合があります。たとえば、法令によって義務付けられる場合、サプライヤー様は、最も顕著なリスクを特定し、そのようなリスクに優先順位を付けて対処するために、人権および環境に関するデューデリジエンスを実施する必要があります。

### 監査要件

要求された場合、サプライヤー様は、製品、労働、または他のサービスをAmazonに提供する前に、自らの生産施設に対するAmazonが承認した監査の結果を提出する必要があります。サプライヤー様は、1) 承認された業界団体による監査結果を提出するか、2) Amazonが管理する監査を実施することができます。

Amazonは、さまざまな業界団体と連携しています。これらの組織は、サプライヤー様が監査の重複を最小限に抑え、リソースを配置転換するのを支援することで、問題に対応し、継続的に改善できるようにします。

監査中には以下のことが行われます。

- ・ 生産施設のすべてのエリアおよび雇用主が提供する生活空間の現場視察
- ・ 生産施設の管理者の立ち会いなしで、プライバシーを確保した状態で実施される、労働者との面談またはアンケート調査
- ・ 労働者の年齢、契約、報酬、労働時間、および職場条件を評価するための、生産施設の文書または許可の確認および分析
- ・ 過去に発見されたコンプライアンスに関する問題および改善が必要な課題の特定
- ・ 是正行動計画の策定
- ・ 是正措置の確認

サプライヤー様には、包み隠さず、生産施設への立ち入り、記録の閲覧、労働者（非正規労働者を含む）との面談を、監査人が速やかに行えるようにすることが求められます。監査で課題が明らかになった場合、Amazonは、告知したうえで、または告知なしでオンサイトの検証を実施するか、是正の取り組みを追跡するために追加の文書の提出を求めることがあります。

特定の指摘事項に対応するためのフォローアップ評価を含め、見つかった課題によっては、サプライヤー様に対して、年に複数回の評価が行われる場合があります。評価が完了したら、サプライヤー様は、見つかった各課題に対する詳しい是正行動計画を速やかに提出する必要があります。

Amazonは、継続的改善を方針として業務を遂行しています。Amazonは、サプライヤー様がAmazonの基準を満たすことができなかつた場合はいつでも関係を終了する権利を留保します。多くの場合において、関係を終了する事例は、サプライヤー様が評価への協力を拒んだ場合、行動もしくは慣行を変えることを拒んだ場合、または是正に関して有意義な改善を図らなかつた場合に発生します。



監査の準備に関するヒント:

- ・ **理解する:** Amazonは、サプライヤー様が本基準を確認および理解することを求めます。監査は、既存の問題および問題の可能性を特定し、改善を行うためのものです。サプライヤー様には、監査中、率直で包み隠さない態度を取ることが求められます。
- ・ **準備する:** サプライヤー様は、自社の生産施設と運営を評価し、Amazonの本基準に満たない現在の労働条件を特定する必要があります。
- ・ **サポートを受ける:** サプライヤー様は、外部のリソースを利用したり、自己評価を実施したりできるほか、業界イニシアチブと連携することもできます。

## 認められる監査

### 業界団体監査

業界団体監査は、第三者のソーシャルコンプライアンスイニシアチブおよびマルチステークホルダープログラムです。これは、多数の業界のブランドによって広く認められています。

Amazonでは、現在、以下の業界団体による監査を認めています。

- ・ [amfori BSCI](#)
- ・ [Better Work \(BW\)](#)
- ・ [責任ある企業同盟 \(RBA\)](#) (AmazonはRBAのVAP監査のみを認めており、RBAのSVAP監査は認めていません)
- ・ [Sedex Members Ethical Trade Audit \(SMETA\)](#)
- ・ [SA8000 Standard](#)
- ・ [Social and Labor Convergence Program \(SLCP\)](#)

Amazonが監査を要求した場合、Amazonでは、何らかの生産施設の認証、法令遵守のしるし、自己評価、部分的な報告書、格付けを、生産施設の全面的な監査に代

えることを認めません。

サプライヤー様が承認された業界団体によって実施された監査結果を提出する場合、Amazonは、生産施設が本基準を満たしている旨をその監査結果が証明しているかどうかを判断する権利を留保します。

Amazonは、監査報告書を審査し、監査結果がAmazonの基準を満たしているかどうかをサプライヤー様に通知します。満たしていなかった場合、サプライヤー様は、指摘事項を解決したことを証明するフォローアップ監査の結果を提出する必要があります。

監査を依頼する方法を含め、業界団体監査の詳細については、[sr-support@amazon.com](mailto:sr-support@amazon.com)までお問い合わせください。\*

### Amazonが管理する監査

Amazonが管理する監査は、認定された第三者監査機関がAmazonに代わって実施します。Amazonは、経験豊富で適格な監査人と密接に連携し、業界の知識および地域固有の知識に基づいて労働条件を評価します。

Amazonは、監査を実施する前に、今後監査を実施する旨をサプライヤー様に通知する場合があります。Amazonは、事前通知の有無を問わず、事前周知監査、実施期間通知監査、事前通知なしの監査を実施する権利を留保します。

サプライヤー様は、以下を行う権限を監査人に付与する必要があります。

- ・ 事業許可の対象となるすべての建物（生産施設、倉庫、管理オフィス、雇用主が提供する寮、食堂を含むが、これらに限定されない）への立ち入り
- ・ 該当する文書（雇用関連の記録など。契約労働者または非正規労働者に関する文書を含む）の閲覧
- ・ 労働者および生産施設の管理者との面談

Amazonの監査は、生産施設の規模に応じて1営業日以上かかる場合があります。監査に関わる生産施設の担当者および人材斡旋業者の担当者は、監査中、対応できる状態であることが求められます。監査の終了時に、監査人は、サプライヤー様に対して、指摘事項の概要を説明します。その際、直ちに是正する必要がある問題もお伝えします。監査終了後、Amazonは、必要に応じて、是正行動計画を完成させる依頼をサプライヤー様に送信します。

### 建物、電気、火災、および構造に関する安全プログラム (BEFS)

Amazonの建物、電気、火災、および構造 (BEFS) に関する安全プログラムは、構造、電気、および消防に関する問題を特定および是正することを目的とした、問題に特化した評価です。この評価は、従来のソーシャルコンプライアンス監査の範囲を超えて、Amazonのサプ

ライチェーン基準に記載されている安全に関する問題を深く確認し、対象の向上のために改善領域を特定します。

BEFS評価は、バングラデシュに所在するすべての新たな生産施設について必須の要件です。また、BEFS評価は、パキスタンおよびカンボジアにある生産施設について、1年に1回実施することが義務付けられています。この範囲は変更される場合があります。

BEFS評価は、Amazonによって開始されます。AmazonがBEFS評価のためにサプライヤー様に連絡した場合、サプライヤー様は、指定された第三者と協力して、評価の予定を設定する必要があります。また、従来の監査と同様、サプライヤー様は、評価の日に、第三者に協力するとともに、何事も包み隠さないようにする必要もあります。評価が完了すると、Amazonは是正行動計画を発行し、サプライヤー様は是正に関する最新の進捗状況を定期的に提出する必要があります。

## 予防措置

本基準を読み、理解することは、サプライヤー様がその事業運営におけるリスクを緩和するために講じることができる最も重要なステップの1つです。リスク管理は、問題を防ぎ、権利の保有者を保護する上で重要です。



### ヒント

営業、キャパシティプランニング、原材料の調達など、購入および生産の慣行は、労働者に影響を及ぼす可能性があります。Amazonのサプライヤー様は、独自のサプライヤーと連携する際に、次の事項を考慮する必要があります。

- ・ コスト計算、支払条件、および生産タイムラインは、貴社のサプライヤー様が法的に要求される賃金を支払い、過度な時間外労働を回避する能力に影響を及ぼす可能性があります。また、これらの慣行により、非開示の下請業者の利用を防ぐこともできます。
- ・ 発注書に対するあらゆる変更は、過度な時間外労働を生じさせることなく、生産マネージャーが適切に計画できるように十分な通知をした上で行われる必要があります。
- ・ 貴社のサプライヤー様との連絡は、調整を可能にし、持続可能なビジネス上の関係に資するように、頻繁かつ適時に行われる必要があります。

### ギャップ分析

生産施設の慣行がどの程度Amazonの本基準に準拠しているのかをより良く理解するため、サプライヤー様は、ギャップ分析を実施する必要があります。Amazonの本基準を読んだ後、サプライヤー様は、関連する業績指標を含め、自社の生産施設および運営の現状に関する情報およびデータを収集する必要があります。Amazon

\*Amazonの担当者が日本に所在する場合は、[sr-support@amazon.co.jp](mailto:sr-support@amazon.co.jp)宛てにEメールでお問い合わせください

の要件に照らしてこのデータを分析することは、現状と望ましいコンプライアンスレベルの間にどの程度の距離があるのかを特定するのに役立ちます。その後、サプライヤー様は、自社のリスクレベルに基づいて、特定されたギャップに優先順位を付け、ギャップを減らしたり、なくしたりするために、アクションプランを作成できます。

### 方針および内部統制

サプライヤー様は、Amazonの本基準の遵守に資するよう、方針および内部統制を確立する必要があります。書面の方針および統制手順は、一貫したリスク防止および継続的改善を実現するための基礎となります。本セクションには、方針および統制の例が記載されています。これらは例であり、すべてを網羅しているではありません。

### 方針および統制の例

- **文書の保持:** 国際的な標準と現地の法令および規則のうち、より厳格な方に合わせて、労働者の個人的な書類についての、あらゆる態様の保持を禁止する方針。この方針は、すべての労働者に適用される必要があります。該当の方針の遵守をモニタリングするために、関連ビジネスパートナーのデューデリジェンスを遂行するコミットメントを含む必要があります。
- **倫理的行為:** 倫理的な行動を促進および強制する一連の方針。これには、贈答品が適切であるかどうかを判断するための贈答品および接待に関する方針、内部通報に関する方針（報復禁止に関する方針を含む）、倫理的な行動を推進する人事に関する方針（バックグラウンドチェックを利用した、管理職の応募者のスクリーニングなど）が含まれます。
- **賃金および手当:** すべての労働者（場合によって、直接雇用、派遣、移住、契約、非正規、出来高払いなどの労働者）に適用される現地の労働関連法令に整合する方針。そのような法令が存在しない場合、サプライヤー様は、有休休暇など、労働者の福利厚生を規定する方針を設けることが推奨されます。
- **衛生と安全:** 有害または致命的な危険を防ぐ管理措置には、生産施設に十分な火災防止および消火設備が備わっており、これらが定期的に検査、試験、および保守されているようにすることについての明確な責任を特定の個人に割り当てることが含まれますが、これに限られません。サプライヤー様は、緊急対応訓練を含め、衛生と安全に関するリスクを防ぎ、緩和し、これらに対応するための研修を労働者に提供する必要があります。
- **労働時間:** サプライヤー様は、生産および/または人員配置に関する包括的な計画についての明確な責任および説明責任を個人に割り当て、寄与要因が確実に管理されるようにすることによって、労働時間を管理する必要があります。たとえば、会社の上限を超える時間については上級経営陣の正式な

承認を必要とする、時間外勤務の承認に関する仕組みを確立することが考えられます。

- **公平な待遇:** サプライヤー様が公平な待遇および従業員の尊重の促進に積極的に取り組むための方針。この方針には、暴力または他のいかなる態様の嫌がらせ、虐待、もしくは強制も許容されない旨が記載されている必要があります。この方針は、秘密が守られた状態で苦情および調査手続きを従業員が利用できることを保証し、報告されたインシデントを是正するための徹底的な対応をサプライヤー様が積極的に講じるようにするものである必要があります。
- **責任ある人材募集:** この方針は、詳細かつ正確な雇用条件をすべての労働者に提供することにサプライヤー様が積極的に取り組むようにするとともに、サプライヤー様が人材募集にかかるすべての費用を支払い、かつ、労働者が費用を支払った場合は、それらの費用を労働者に返金する旨を定めるものである必要があります。
- **強制労働の防止:** あらゆる形態の束縛、奉公、監禁、または強制による労働（奴隷、児童労働、および人身取引を含む）を禁じる方針。サプライヤー様は、倫理的な第三者である人材派遣会社および人材斡旋会社、生活環境の提供業者、または他の業務委託先に対する効果的なスクリーニング、およびこれらの者との契約のための手順および管理体制を確立することによって、強制労働の問題が発生しないようにするための措置を講じることができます。
- **差別の禁止:** 差別を明確に定義し、差別的な慣行を許容しない旨が明記されている方針。この方針には、採用、雇用、または解雇の手順を実施する際に、労働者を差別してはならない旨が明記されている必要があります。また、この方針は、差別的な行為または行動を報告した労働者が処罰または報復を受けることはない旨を宣明するものである必要もあります。

これらの方針および他の方針の詳細については、[sr-support@amazon.com](mailto:sr-support@amazon.com)までお問い合わせください。\*

## 是正

### 是正プロセスの主な手順

監査、苦情処理制度、メディア報道などによって問題が明らかとなった場合は是正プロセスは、その問題の性質および範囲に基づいて異なります。あらゆる是正行動計画では、迅速に行動し、危険を除去するとともに、労働者の最善の利益のために対応して、将来的に類似の問題が起こらないように積極的に取り組む必要があります。

是正プロセス中、サプライヤー様には次が求められます。

\*Amazonの担当者が日本に所在する場合は、[sr-support@amazon.co.jp](mailto:sr-support@amazon.co.jp)宛てにEメールでお問い合わせください

## 1. 迅速な行動

特定の状況において、Amazonは、新規生産、購入、または人員配置の発注を一時停止し、直ちに対応する必要があることをサプライヤー様に通知します。サプライヤー様は、Amazonが要求する期間内に違反を是正する責任を負っています。

## 2. 問題の特定

特定された問題に基づいて、Amazonは、Amazonのサプライチェーン基準についての是正に関するガイダンスをサプライヤー様に提供します。これには、コンプライアンス違反を是正するための手順が含まれます。

## 3. 労働者の視点による是正の優先順位付け

調査中、Amazonは、労働者からのフィードバックに優先順位を付け、サプライヤー様と直接連携して問題を調査し、共同で根本原因を調査して、共同で是正行動計画 (CAP) を策定します。

## 4. 適切かつ完全な対応を案出する

Amazonは、サプライヤー様と連携して、是正行動計画の手順が一貫して実行されるようにするとともに、確実な進捗がなされるよう定期的なチェックを実施します。Amazonは、問題の再発を防止するために、マネジメントシステムベースの調査がサプライヤー様の是正行動計画に含まれていることを求めます。



**Amazonの主要な是正原則:**労働者は、あらゆる是正の取り組みの中心に置かれている必要があります。Amazonは、影響を受ける労働者の安全および利益を最優先します。

### 是正行動計画

是正行動計画 (CAP) は、監査中に検出された問題をサプライヤー様が理解し、その問題に対処するための計画を策定するのに役立つ手段です。CAPは、サプライヤー様が自社のマネジメントシステムおよび下流のサプライチェーンを継続的に改善するのに役立ちます。

Amazonは、監査結果を受領および分析した後、監査で特定された問題の概要を提供します。サプライヤー様は、結果を確認し、高リスクの問題に対処するために直ちに実行すべき措置を詳述するCAPの策定、および問題の再発を防止するための長期計画を策定することが求められます。CAPに記載されている措置を講じない場合、サプライヤー様は、生産の継続や、Amazonに対するサービスや労働の提供ができなくなることがあります。

CAPには、次の項目が含まれます。

- コンプライアンス違反の原因となった問題の根本原因に関する説明
- 直ちに講じる必要がある是正措置
- 今後、同様の問題の再発を防止するための長期的

な予防措置

- 是正措置を講じる責任を割り当てられ、進捗について説明責任を負う担当者
- 直ちに講じる必要がある措置と長期的な措置の完了期限日

サプライヤー様は、最終版の是正計画書を受領してから20営業日以内に、CAPを完了し、[sr-support@amazon.com](mailto:sr-support@amazon.com)\*宛てに返送する必要があります。CAPの例は付録8に含まれています。

Amazonは、是正の進捗を厳密に追跡し、必要に応じてフォローアップ評価を実施します。次の評価を実施するまでの間、Amazonのチームは、サプライヤー様と直接やり取りし、未解決の問題および是正の進捗について話し合います。Amazonは、自社のサプライチェーンをサポートするため、主な調達国に拠点を置くサプライヤー様およびサービス提供者と直接やり取りする専任チームを設けています。

Amazonは、問題によっては有効に是正されるまでに時間がかかる可能性があることを理解しています。重大な問題については、問題に基づいて定められた期間内に是正できるよう、サプライヤー様は有意義な進捗をAmazonに示すことを求められます。この期間中、Amazonは、事前通知の有無を問わず、オンサイトの検証監査を実施したり、是正の取り組みを追跡調査するために追加の文書の提出を求めたりする権利を留保します。

Amazonは、継続的改善をサポートするためにオンサイトまたはリモートでの研修を提供します。また、サプライヤー様は、業界団体による指導など、外部の研修プログラムに参加し、強制労働を認識して防止する方法、賃金および労働時間に関する要件を遵守する方法、ならびにマネジメントシステムを導入する方法を理解することが推奨されています。



### 労働者にCAPプロセスに参加してもらう:

- 労働者の視点から、問題の根本原因および考えられる解決策を特定してもらいます。
- 持続可能な変更を特定したり、問題の再発を防止したりするのに役立つよう、労働者からのフィードバックをCAPに記載します。

### Amazonがサプライヤー様との関係の終了を検討する場合

Amazonは、サプライチェーンの問題をいつでも調査する権利を留保します。Amazonの本基準に対する違反が繰り返されることは、サプライヤー様が持続可能な改善を行っていないことを示唆する事実となります。

Amazonは、労働者の条件を改善するために、契約関係を終了するのではなく、問題を是正するためのあらゆる取り組みをサプライヤー様と協力して行いま

\*Amazonの担当者が日本に所在する場合は、[sr-support@amazon.co.jp](mailto:sr-support@amazon.co.jp)宛てにEメールでお問い合わせください

す。Amazonは、サプライヤー様およびサプライヤー様の労働者をサポートするために、必要に応じて専門家によるサポートやリソースを提供します。

是正中、Amazonは、次のことを行うことができます。

- ・ 調査中、およびサプライヤー様が是正行動計画に同意するまで、新規生産、購入、または調達を一時停止する。
- ・ 行動計画の中間目標が達成されている場合に限り、是正中であっても、生産、購入、または調達を暫定的に再開する。
- ・ 中間目標の達成に遅れが生じている間は、生産、購入、または調達を一時停止する。
- ・ サプライヤー様が是正を拒んだ場合、または有意義な進捗が見られない場合、生産施設との関係を終了する。

関係の終了は、次の場合に検討されます。

- ・ サプライヤー様が調査に協力することや是正に取り組むことを拒んだ場合
- ・ サプライヤー様が是正行動計画を進めない場合
- ・ サプライヤー様が行動または慣行を変更することを拒んだ場合

[吹き出しボックス]

Amazonの本基準の遵守に関して懸念がある場合は、[sr-support@amazon.com](mailto:sr-support@amazon.com)\*までEメールでご連絡ください。

## サプライチェーンの管理

Amazonは、サプライチェーンが複雑であり、かつ、モニタリングが困難であることを理解しています。Amazonは、サプライヤー様がリスクを特定して対処するために、自社独自のサプライチェーンを定期的にモニタリングすることを求めます。

### サプライヤー様の関係

Amazonは、サプライヤー様が、生産またはAmazonにサービスもしくは労働の提供を開始する前に、下請業者または人材斡旋会社の利用を含め、すべての関係を開示することを求めます。

サプライヤー様は、生産または関連する工程を、Amazonが契約を締結している事業者以外の者に委託する場合、自社独自のサプライチェーン内の関係を開示する必要があります。サプライヤー様は、Amazonのために製品、サービス、または労働を直接的または間接的に提供する下層サプライヤーまたは下請業者も、Amazonの本基準を遵守していることを確認する必要があります。

Amazonは、構成部品または原材料を生産する生産施設、生産工程(サイト外でのアイロンがけ、洗濯、刺繍、組み立て、ベルトコンベア、IT設備など)に寄与する施設を含め、Amazonの製品の生産に関係する生産施設を監査する権利を留保します。Amazonの担当者、またはAmazonに代わって評価を実施する監査人は、下層サプライヤーおよび下請業者による確実な遵守を実現するためのサプライヤー様のシステムを検証するため、関連文書の閲覧を要求できるものとします。

### 苦情処理制度

苦情処理制度は、さまざまな関係者(労働者、コミュニティのメンバー、お客様)またはその代理人(市民社会組織、労働組合の担当者など)が、事業活動の結果として被っている好ましくない影響についての苦情を申し立てたり、解決を求めたりすることを可能にするプロセスです。ホットラインやメールアドレスのようにシンプルなものにすることもできますが、ウェブベースのツール、問い合わせを受け付けるコミュニティセンター、第三者サービスのような複雑なプロセスも考えられます。仕組みは、アクセスしやすく、高い透明性および予測可能性をもって、正当な根拠がある苦情の是正につながる状態で、さまざまな関係者が苦情を申し立て、その処理を依頼できるように構築されている必要があります。

仕組みを設けることについてのサポートを受けることを含め、苦情処理制度に関する質問については、[sr-support@amazon.com](mailto:sr-support@amazon.com)\*までお問い合わせください

## 透明性

Amazonは、サプライヤー様が事業の運営方法および労働者の処遇について、正直かつ率直に話すことを求めます。

Amazonは、正直ではないサプライヤー様とは取引をしません。Amazonは、サプライヤー様が特定の要件または業界団体の基準を満たす際に課題に直面する可能性があることを理解しています。Amazonの最終目標は、たとえ時間がかかっても、真摯に取り組むサプライヤー様が職場を改善し、労働者をよりよい形で守ることができるように支援することです。Amazonは、Amazonの基準の遵守を長期的に維持するために、相互に合意した行動計画が策定できるようサプライヤー様をサポートします。

Amazonの透明性に関する基準では、サプライヤー様は、生産施設の労働条件に関する正確な書類を提供することが義務付けられています。例については、付録7を参照してください。

監査中、サプライヤー様は、次の行為を行う権限を監査人に付与する必要があります。

- ・ 事業許可の対象となるすべての建物(管理オフィス、

\*Amazonの担当者が日本に所在する場合は、[sr-support@amazon.co.jp](mailto:sr-support@amazon.co.jp)宛てにEメールでお問い合わせください



従業員の記録、生産施設、倉庫、寮、食堂、生活空間を含むが、これらに限定されない)への立ち入り

- ・ 該当する文書(契約労働者または非正規労働者に関する文書を含む)の閲覧
- ・ 労働者および生産施設の管理者との面談

監査人に十分な権限を付与しない場合、監査結果では問題があるものとして報告される場合があります。秘密保持契約などの条件を理由として、公開できないエリアや提供することができない労働者のグループの記録がある場合、サプライヤー様は、監査の前にAmazonに通知する必要があります。

#### 透明性の要件:

- ・ 違法行為、詐欺行為、非倫理的行為(賄賂など)に関与しない
- ・ 労働条件に関する正確な文書を提供する
- ・ 人材派遣業者または人材斡旋会社を含め、関係を開示する
- ・ 監査人がすべての建物への立ち入り、該当する文書の閲覧、労働者や生産施設の管理者との面談を行えるようにする

## 環境

Amazonは、サプライヤー様が法的義務および遵守義務を上回る目標を設定し、持続可能な環境に関する慣行を事業運営に組み込むべく、前進を図っていることを示すことを推奨します。

サプライヤー様は、次のようなシステムを生産施設に導入することで、環境への好ましくない影響を最小限に抑えることができます。

- ・ 水の消費量を把握し、最小限に抑える
- ・ 温室効果ガスの排出量を削減する
- ・ エネルギー効率を改善する
- ・ 廃棄物を最小限に抑える
- ・ 影響を追跡および文書化し、報告書を作成する

## サプライヤー様の多様性

サプライヤー様の多様性およびインクルージョン(SDI)を推し進めることは、Amazonのビジネスにとって好ましいことであり、Amazonのお客様の期待事項に沿うものであり、社会全体のために実施するのが望ましいことであるため、Amazonにとって重要です。Amazonのサプライヤー様の多様性プログラムは、サプライチェーンのイノベーションを推進し、より幅広い製品およびサービスをお客様に提供することを目標として、調達の機会を多用なビジネスに広げるといふ、Amazonの熱意をその理念としています。

Amazonは、サプライヤー様が独自のサプライチェーンを確認し、多様性、公平性、およびインクルージョンを促進するための方針および措置を確立することを推奨します。

## 付録

### 付録1:用語集

**Amazonが管理する監査:**Amazonに代わって、第三者監査機関が実施するサプライヤー様の生産施設の監査。

**事前周知監査:**監査に関する通知が生産施設および関係者に送付され、監査人が生産施設に連絡して、生産施設の連絡先情報および監査実施日を確認します。

**監査の指摘事項:**Amazonのサプライヤー様、サービス提供者、または下請業者の生産施設で見つかった問題。監査の指摘事項は、正式または非公式の評価手法(生産施設への訪問、監査、アンケート調査など)を通じて特定される場合があります。

**是正行動計画(CAP):**監査で特定された、是正が必要な問題の概要。サプライヤー様は、CAPを確認し、ステップを実行して直ちに解決する必要がある問題に対応し、問題の再発を防止するための長期的な計画を策定する必要があります。

**生産施設:**Amazonブランドの製品、またはAmazonの仕様に合わせて設計された製品が調達または生産される場所(加工、仕上げ、組み立て、流通、納品を含むが、これらに限定されない)。

**業界団体監査:**承認された第三者ソーシャルコンプライアンス団体またはマルチステークホルダーイニシアチブによって実施される監査。

**法令:**サプライヤー様または生産施設に適用される法令、規制、または規則。これには、条例、国の法令、国の規制および規則、ならびに条約が含まれます。

**資格要件:**サプライヤー様および生産施設がAmazonの適格なサプライヤー様として満たす必要がある、Amazonのサプライチェーン基準の最低限の遵守レベル。

**是正:**Amazonのサプライチェーン基準に対する違反が是正されており、問題の再発を防止するための措置が講じられたことを実証すること。是正は、Amazonによって決定された承認済みの検証方法を通じて実証される必要があります。

**実施期間通知監査:**監査に関する通知が生産施設および関係者に送付されます。監査人は、連絡先情報を確認して、監査を実施する1週間または2週間の期間について合意するために、生産施設に連絡します。監査人

は、正確な監査実施日を通知しません。

**下請業者:**ある契約の義務の一部または全部を履行するために、別の契約を締結する個人または事業体。

**サプライヤー様:**Amazonに提供される商品、サービス、または労働を、生産、製造、組み立て、または提供する事業者。

**サプライチェーン基準:**Amazonのサプライチェーン基準(以下「本基準」といいます)。Amazonのサプライチェーンのサプライヤー様およびAmazonの事業運営をサポートするサプライヤー様に求められる要件および期待事項が規定されています。

**事前通知なしの監査:**生産施設には事前の通知が送付されません。監査が今後実施されることを伝えるために監査人が生産施設に連絡する可能性があります、具体的な日付は通知しません。

**労働者:**サプライヤー様またはサービス提供者者によって、常勤、パートタイム、非正規雇用、または契約に基づいて雇用される、生産施設における主な権利保有者。

## 付録2:よくある質問

**?** Amazonとの取引にあたって、事前に監査の合格が必要かどうかを判断するにはどうすればよいですか？

貴社が監査に合格する必要がある場合、Amazonからご連絡します。Amazonは、サプライヤー様、ならびにサプライヤー様自身のサプライヤーおよび下請業者のすべてが、Amazonのサプライチェーン基準を遵守することを求めます。

**?** 業界団体監査の結果を提出した場合、Amazonの基準を遵守していることになりませんか？

業界団体監査の結果を提出しても、監査の対象となった生産施設がAmazonの社会的責任基準を満たしていることにはなりません。Amazonは、報告書を精査して、遵守しているかどうかを確認します。業界団体監査の結果がAmazonの基準を満たしていない場合は、担当のAmazonのビジネスパートナーからご連絡いたします。その場合、業界団体監査をもう一度受けるか、またはAmazonが管理する監査を受けて、指摘事項が解決されていることを確認することが求められます。

**?** 業界団体監査の結果が承認された場合でも、Amazonが管理する監査を受ける必要がありますか？

Amazonが管理する監査を実施しなくても、Amazonの要件を満たしている業界団体監査は認められます。ただし、Amazonは、いつでも評価を実施する権利を有しています。

**?** 監査プロセスにはどの程度の時間がかかりますか？

監査にかかる時間は、評価対象の生産施設の規模および面談の対象となる労働者の数によって異なります。監査には少なくとも1営業日かかります。

**?** 詳細情報はどこで確認できますか？

最近の監査や今後の監査についてご不明な点がございましたら、Amazonのビジネスパートナーまでご連絡ください。

**?** IAA/AMAの費用は誰が負担しますか？

サプライヤー様は、SLCPの最初の監査およびメンテナンス監査を含め、すべての業界団体監査 (IAA) の費用を支払う必要があります。唯一の例外はSLCP検証監査であり、この費用はAmazonが支払います。また、Amazonが管理する監査の費用もAmazonが負担します。

AmazonのSocial Responsibilityチームに問い合わせるには、[sr-support@amazon.com](mailto:sr-support@amazon.com)\*宛てにEメールをお送りください。

## 付録3:各国固有の調達要件

Amazonは、次の国について、追加の調達要件を定めています。これらの国に所在するサプライヤー様は、Amazonのビジネスパートナーに問い合わせ、詳細を確認する必要があります。

- ・ アフガニスタン
- ・ アルジェリア
- ・ アンゴラ
- ・ バングラデシュ\*
- ・ ブルンジ
- ・ カメルーン
- ・ 中央アフリカ共和国
- ・ カンボジア\*
- ・ チャド
- ・ コモロ
- ・ コンゴ
- ・ ジブチ
- ・ コンゴ民主共和国
- ・ エジプト
- ・ 赤道ギニア
- ・ エリトリア
- ・ エチオピア\*
- ・ ガボン
- ・ ギニア

\* 対象の生産施設ではBetter WorkおよびBEFへの参加が必須です。

- ・ ギニアビサウ
- ・ ハイチ\*
- ・ イラク
- ・ レバノン
- ・ リベリア
- ・ リビア
- ・ マダガスカル
- ・ マリ
- ・ モーリタニア
- ・ モザンビーク
- ・ ミャンマー
- ・ ニジェール
- ・ ナイジェリア
- ・ パキスタン
- ・ ソマリア
- ・ 南スーダン
- ・ タジキスタン
- ・ トーゴ
- ・ トルクメニスタン
- ・ ジンバブエ
- ・ ウズベキスタン
- ・ ベネズエラ
- ・ イエメン

## 付録4: 業界イニシアチブとマルチステークホルダーイニシアチブ

サプライヤー様がAmazonの基準を満たし、さらにこれを上回ることができるように、Amazonは、業界団体イニシアチブやマルチステークホルダーイニシアチブによって提供されている次のリソース、プログラム、ツールを推奨しています。以下の情報は変更されることがあります。

### amforiBSCI

amforiはオープンで持続可能な取引を目指して設立された経済団体で、40を超える国々の2,300社超の小売業者、輸入業者、ブランド、企業が参加しています。

- ・ 主なウェブサイト: [amfori.org](https://amfori.org)
- ・ サプライヤー様向けポータル: [amfori.org/en/solutions/tools/amfori-sustainability-platform](https://amfori.org/en/solutions/tools/amfori-sustainability-platform)
- ・ eラーニングポータル: [amfori.org/en/solutions/tools/amfori-academy](https://amfori.org/en/solutions/tools/amfori-academy)

### 推奨される研修

amfori Academyは、ワークショップやeラーニングなど、さまざまな研修を提供しています。Amazonは、次を推奨しています。

- ・ Getting Started with amfori BSCI
- ・ Introduction to Social Management Systems
- ・ Occupational Health and Safety
- ・ Drafting a Remediation Plan
- ・ Fair Remuneration and Decent Working Hours

### リスク評価ツール

- ・ amfori BSCIプラットフォーム: サプライチェーンの概要が提供されるため、作業の重複を減らしたり、コストを削減したりできるほか、改善すべき点を特定するのに役立ちます。
- ・ Auditing Integrity Program: 監査法人がamfori BSCIの活動に取り組む際の包括的で独立した受け入れプロセスです。
- ・ Country Due Diligenceツール: 会員が自身のサプライチェーンを理解し、潜在的なリスクを管理できるように支援します。

### Better Work

バングラデシュ、カンボジア、エチオピア、ハイチに拠点を置く、すべての対象のサプライヤー様は、Better Work Programに登録する必要があります。また、Amazonは、Better Workが活動している国に拠点を置くすべてのサプライヤー様にも参加を推奨しています(バングラデシュ、カンボジア、エチオピア、ハイチ、インドネシア、ヨルダン、ニカラグア、ベトナム)。

- ・ 主なウェブサイト: [betterwork.org](https://betterwork.org)
- ・ サプライヤー様向けポータル: [portal.betterwork.org](https://portal.betterwork.org)
- ・ eラーニングポータル: [betterwork.org/training/](https://betterwork.org/training/)

### 推奨される研修

Better Workは、コミュニケーション、交渉および管理スキル、労使関係、労働安全衛生、ハラスメント防止などの分野に関する研修コースを提供しています。研修は、参加者が実際の問題を実践的な態様で解決できるようにすることに重点を置いています。

### 工場向けサービスパック

Better Workは、バングラデシュ、カンボジア、ハイチ、ヨルダン、インドネシア、ニカラグア、ベトナムで工場向けサービスパックを提供しています。

Better Workに登録している工場は、評価、アドバイザリサービス、業界セミナー、研修を含む学習プロセスを経ることになります。

## 責任ある企業同盟

RBA (旧称: Electronic Industry Citizenship Coalition) は、電子機器、小売、自動車、および玩具の小売業者およびサプライヤー様で構成される非営利団体であり、各社は労働条件および環境条件の改善に向けて協力しています。

- 主なウェブサイト: [responsiblebusiness.org](https://responsiblebusiness.org)
- サプライヤー様向けポータル: [rba-online.org](https://rba-online.org)
- eラーニングポータル: [academy.responsible-business.org](https://academy.responsible-business.org)

### 推奨される研修

RBAの会員は、RBAのさまざまな研修および評価ツールを利用できます。Amazonでは、次から開始することを推奨しています。

- RBA Code of Conduct
- Assessments and Remediation 1: Factory Assessments
- Assessments and Remediation 2: Transparency and Ethics
- Assessments and Remediation 3: 是正行動計画

### リスク評価ツール

- 研修イベント: RBAは、世界規模のイベントおよび対面式の研修を主催しています。会員は、イベントに関するニュースをサブスクライブできます。
- Responsible Factory Initiative: サプライチェーンの評価および開発を検討しているあらゆるレベルの成熟度の企業向けに、RBAの工場レベルのツールおよびプログラムの統一アーキテクチャを提供します。

## Sedex

Amazonは、ソーシャルコンプライアンス監査人協会の完全な会員である機関により実施されたSedexの監査結果のみを認めています。承認されている機関の最新のリストはオンラインで確認できます。

Sedexは世界規模の会員組織であり、サプライヤー様がサプライチェーン内のリスクをマッピングおよび管理するのをサポートするために、ツール、サービス、ガイダンス、および研修を提供しています。Sedexは、180を超える国々において、35の業界から55,000超の会員を擁しています。

- 主なウェブサイト: [sedex.com](https://sedex.com)
- サプライヤー様向けポータル: [sedex.com/become-a-member/supplier-membership/](https://sedex.com/become-a-member/supplier-membership/)
- eラーニングポータル: [sedex.com/training/](https://sedex.com/training/)

### 推奨される研修

- Introduction to SMETA

- Training for buyers
- Training for suppliers
- Training for auditors

### リスク評価ツール

- SMETA Audit: 監査人が質の高い監査を実施できるように設計された監査手法です。
- Sedex Advance: バイヤー、サプライヤー様、監査人向けの最大規模の倫理データ共同プラットフォームの1つです。
- Sedexに参加しているサプライヤー様は会員専用ツールも利用できます。

## Social and Labor Convergence Program (SLCP)

SLCPは、サプライチェーンにおける監査疲労の問題に取り組むために確立されたマルチステークホルダーイニシアチブであり、アパレルおよび靴のセクターを最初の重点領域に設定しています。SLCPのConverged Assessment Framework (CAF) は、社会的責任に関するすべての独自の監査プログラムを単一の評価に置き換え、社会的責任および労働関連データを収集および検証するために設計されています。

- サプライヤー様向けポータル: [slconvergence.org](https://slconvergence.org)
- サプライヤー様向けガイダンス: [slconvergence.org/tool](https://slconvergence.org/tool)
- コストに関する情報:
  - SLCPの参加に伴って、どのようなコストがかかりますか?
  - SLCP評価に関連して、どのようなコストがかかりますか?
- 監査結果の共有:
  - SLCP Gatewayからのレポートのリンクを [sr-support@amazon.com](mailto:sr-support@amazon.com) に送信します。
  - レポートの共有に関する追加情報

## Social Accountability International SA8000

Social Accountability International (SAI) は、労働における人権の保護を推進する世界的な非政府組織です。SAIは、SA8000基準のオーナーであり、社会的責任および人権に関する新しい問題や出現しつつある問題に対応するために定期的に更新しています。SAIは基準の運用に関するガイダンスを提供し、プログラムの監査手法を決定する一方で、SA8000のすべての監査は、SAIの独立管理部門であるSocial Accountability Accreditation Services (SAAS) から認定を受けている認証機関(適格な監査機関)によって実施されます。

- ウェブサイト: [sa-intl.org](https://sa-intl.org)
- サプライヤー様向けガイダンス: [sa-intl.org/re-](https://sa-intl.org/re-)

[sources/sa8000-getting-started/](https://sources/sa8000-getting-started/)

- コストに関する情報：[sa-intl.org/resources/sa8000-certification-costs/](https://sa-intl.org/resources/sa8000-certification-costs/)
- 監査結果の共有：
  - 次の情報を含めて、[sr-support@amazon.com](mailto:sr-support@amazon.com)\*宛てにEメールを送信します。
    - o Stage 2監査結果
    - o 最新のサーベイランス監査 (6か月ごとに実施)
    - o 有効な認証書 (3年間有効)

## 付録5: 監査のアジェンダの例

この監査のアジェンダの例は、参考の目的でのみ提供されています。監査の各段階の機関は、生産施設によって異なる場合があります。

1. **オープニングミーティング:** 監査プロセスについて話し合い、サプライヤー様への対応事項および監査員に関する文書の内容を確認します。- 30分
2. **現場確認:** 生産施設のツアー (すべての生産エリア、倉庫、食堂、寮)。監査人はこのツアー中に写真を撮ります。- 1~2時間
3. **管理職および労働者との面談:** プライバシーを確保した状態での、直接雇用労働者および間接雇用労働者を含む労働者との面談 (通常は10~25人、または監査人の裁量で決定した人数)。2~4時間

4. **文書記録確認:** このときに確認する記録および/または文書のリストが、監査に先立って監査人から提供されます。- 2~3時間

5. **クロージングミーティング:** 監査人は、生産施設の管理職とミーティングして暫定的な指摘事項を確認し、次のステップについて話し合います。- 30分

## 付録6: 監査の通知例

**From:** [sr-support@amazon.com](mailto:sr-support@amazon.com)  
**To:** Supplier Emails  
**CC:** Supplier Emails  
**Subject:** Amazon Social Responsibility - Importance of Transparency | Initial Audit | A-##### | Facility Name | ST-##### | Company Name | Country

Dear Suppliers

As a potential or existing Amazon supplier, you are required to undergo a Social Responsibility (SR) audit to demonstrate compliance with Amazon's Supply Chain Standards.

Failure to meet and maintain these requirements may result in your factory losing eligibility for initial or continued Amazon production until you can demonstrate compliance. We partner with third party audit firms to monitor compliance. See below for next steps.

**Next Steps:**

1. Please review the Site Information attachment and confirm the details are correct.
2. One of Amazon's third-party audit firms (Elevate, Intertek, Bureau Veritas or SGS) will email you within the next few days to schedule the audit. Please be sure to respond to them right away to avoid any delay.

**Preparation Steps and Resources:**

1. Review Amazon's Supply Chain Standards (<https://amzn.to/supply-chain-standards>)
2. Download and review Amazon's Supplier Manual (<https://amzn.to/supplier-manual>)
3. Review the attached Audit Guidance and Detailed Supplier Standards to understand audit scope and supplier expectations. Pay close attention to pages 4 and 5, which provides examples of non-conformances that Amazon considers high-risk.

**Transparency requirement.**

Transparency is critically important to maintaining your business relationship with Amazon. Amazon's [Supplier Manual](https://sustainability.aboutamazon.com/people/supply-chain#section-nav-id-0) (<https://sustainability.aboutamazon.com/people/supply-chain#section-nav-id-0>) provides transparency guidance for suppliers. We expect suppliers to be open and honest with auditors performing audits on Amazon's behalf. This means:

- o **We expect suppliers will provide accurate records, including truthful wage and attendance records, to verify working conditions.** Amazon understands that many factors can lead to hours worked on scheduled days of rest and holidays, and we are willing to work with suppliers that are truthful about working hours and have a plan to *reduce working hours over time*, towards compliance with Amazon's Supplier Code of Conduct. Conversely, suppliers who falsify information related to working hours, wages, social benefits, or permits and inspection reports receive an **ALERT** finding, which could jeopardize their business relationship with Amazon. *Please refer to attached Transparency Overview to learn more.*
- o **We expect suppliers will provide full access to facility.** This includes access to all production and common areas affiliated with your business license, including areas not specific to Amazon (e.g. other client production areas, warehouses, canteen, dormitory). If suppliers do not allow auditors full access, this will be noted as an **ALERT** audit finding. If supplier has concerns about providing auditors access to all areas of the facility, please notify the audit firm in advance of the audit. *Please refer to attached SR Audit Guidance (part 2) to learn more.*
- o **We expect suppliers will provide full access to documents and workers.** This includes access to truthful worker records, including time, payroll, and personnel records for a sample of directly hired employees and engaging labor agencies to have records on-site for indirectly hired workers (e.g., contract, temporary, dispatch, intern). We expect suppliers will allow auditors to interview workers involved in production and related processes, sampled from direct employees and indirectly hired workers if present.
- o **We expect suppliers will act ethically and transparently.** This means that suppliers will not coach or threaten workers or management personnel to provide false information to auditors, falsify or destroy records prior to the audit, or attempt to bribe auditors.

Please respond to this email with any questions or concerns.

Regards,  
Amazon Social Responsibility

## 付録7: 監査文書のチェックリスト例

このリストは、サプライヤー様が監査に必要な記録および文書を収集するのを支援することを目的としています。すべての専有情報の秘密性が尊重されます。すべての労働者（契約労働者および非正規労働者を含む）の文書の原本は、監査中にいつでも提示できるようになっている必要があります。このリストは網羅的なものではなく、監査人から追加の文書を求められる場合があります。

### 事業に関する文書

- ・ 事業/業界の許可や免許、登録証、許可証、および/または証明書
- ・ 政府の検査報告書/許可（衛生、消防、構造上の安全性、環境法令遵守など）
- ・ 特別な装置（クレーン、エレベーター、発電機、ボイラー、圧力容器、フォークリフトなど）の登録と検査証明書およびオペレーターの証明書をまとめたリスト
- ・ ベンダーや下請業者との契約（食堂、警備、生産施設など）に関するその他の文書（該当する場合）

### 生産施設の方針と手順

- ・ 生産施設の規則/従業員ハンドブック
- ・ 雇用/採用、児童労働、賃金および労働時間、懲罰、福利厚生および手当、差別およびハラスメント、苦情、結社の自由、安全衛生、環境、研修に関する方針

### 従業員の文書

- ・ 従業員の個人ファイル（雇用の応募、労働契約書、懲罰通知書、身分証明書の写し、労働許可、退職届など）
- ・ 労働者登録および健康診断の記録（該当する場合）
- ・ 実習生/インターン/学生労働者の年齢を証する文書（該当する場合）

### 給与支払いおよび出勤に関する文書

- ・ 政府の適用免除/時間外労働許可、過去12か月間（繁忙期、閑散期、最近の期間を含む）の出来高払い記録を含む、給与支払い記録および勤務時間に関する記録（正規の時間と時間外）
- ・ 出来高払い記録と生産記録（日次生産報告書、製品検査報告書など）
- ・ 法定休日のリスト
- ・ 過去2年間の有給休暇と臨時休暇の記録
- ・ 社会保険負担の記録
- ・ 従業員の福利厚生の記録（例：年次休暇、出産休暇）

### 結社の自由

- ・ 適法な組織の契約書または他の文書（議事録など）

### 衛生と安全

- ・ 職場の安全性と設備に関する許可/免許/試験報告書
- ・ 設備の検査/保守点検の記録
- ・ 使用している化学物質および有害な工程のリスト
- ・ 安全データシート（SDS）
- ・ 必要な個人用保護具のリスト
- ・ 消火設備の試験、検査、および保守の記録
- ・ 避難訓練の記録、消防設備点検の報告書
- ・ 緊急時の行動手順（緊急時対応計画など）
- ・ 業務上の負傷および疾病の記録
- ・ 産業衛生モニタリングの記録（化学物質の曝露、大気汚染物質、騒音、温度、照明、屋内の空気質など）
- ・ 従業員の健康診断の記録（該当する場合）
- ・ 飲料水の分析/試験の記録
- ・ 食堂の許可および食品サービス担当者の健康に関する記録（該当する場合）

### 環境

- ・ 環境影響評価、プロジェクト完了受入報告書と承認
- ・ 年次モニタリングおよび報告の記録（該当する場合）
- ・ 大気排出の許可およびモニタリングの記録
- ・ 廃水排出の許可およびモニタリングの記録
- ・ 有害廃棄物の処分および検査の記録
- ・ 汚染管理に関する会議体の承認/同意

## 付録8: 是正行動計画の例

コンプライアンス違反の問題の根本原因を知り、理解することは、直ちに問題を解決し、再発を防止するための最適な是正措置を特定するのに役立ちます。監査結果を確認し、CAPを作成する際には、次の項目について考えてみてください。

- ・ **知識:** 問題の発生原因は意識の欠如または知識の不足にあるか？
- ・ **割り当て:** 問題が発生したのは責任を明確に割り当てていなかったからか？
- ・ **ツール:** 問題が発生したのは適切な手順やツールが利用できないからか？
- ・ **研修:** 問題の発生原因は適切な研修が不足していることにあるか？

